

助成分野	助成事業名	発信元	助成金額	募集締切
福祉・健康・医療	(公財) 木口福祉財団 平成 27 年度 地域福祉振興助成	(公財) 木口福祉財団	100 万円、 車両 300 万円	4 月 16 日
福祉・健康・医療	平成 27 年度 ニッセイ財団高齢社会助成 ＜地域福祉チャレンジ活動助成＞	(公財) 日本生命財団	400 万円	5 月 31 日
福祉・健康・医療	(公財) 毎日新聞東京社会事業団 2015 年度「毎日新聞社会福祉顕彰	(公財) 毎日新聞東京社会事業団	100 万円	5 月 31 日
まちづくり	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株) 株式会社 2015 年度 ソーシャルビジネス支援プログラム	三菱 UFJ リサーチ&コン サルティング(株)	100 万、 150 万円	4 月 27 日
子ども	2015 年度 自然体験活動支援事業 第 14 回 トム・ソーヤスクール企画コンテスト	(公財) 安藤スポーツ・ 食文化振興財団	10 万円	5 月 17 日
子ども	2015 年度 ドコモ市民活動団体への助成 ＜子ども分野＞	NPO 法人 モバイル・コミュニケー ション・ファンド	50 万円	4 月 24 日
子ども	平成 27 年度 キリン・子ども 「力(ちから)」応援事業	(公財) キリン福祉財団	15 万円	4 月 30 日
環境の保全	平成 27 年度 富士フィルム・グリーンファンド助成	(公信) 富士フィルム・ グリーンファンド	総額 850 万円	5 月 11 日
環境の保全	2015 年度 ドコモ市民活動団体への助成 ＜環境分野＞	NPO 法人 モバイル・コミュニケー ション・ファンド	50 万円	4 月 24 日
文化・芸術	(公信) しまね文化ファンド 平成 27 年度後期事業助成	(公財) しまね文化振興財団	対象経費の 1/2	5 月 31 日

■環境の保全 ■福祉・保健・医療 ■まちづくり ■子どもの健全育成
■学術・文化・芸術・スポーツ振興の分野に別れています



ひなまつりコンサート
3月3日(火) 益田市立子
育て支援センターにて「子育
て支援サークルとどうあぐ
るうぶ」のひなまつりコンサ
ートが開催されました。
年に3回開催されるコン
サートは、毎回、地元演奏家
によるものです。今回は、松
ヶ丘病院スタッフ軽音部『ま
つぽっくり』！その中のお一
人も、子どもさんが小さい
頃、このコンサートに来てい
たそうです。「今度は自分が
この場で演奏する側になっ
ています。子育てが一段落し
たら皆さんも是非！」とのこ
とでした。(石川)

取材に行ってきました！

お問い合わせ

発行元：益田市市民活動支援センター

〒698-0033 益田市元町11番26号 市民学習センター内
TEL: 0856-31-0625 FAX: 0856-23-7708
Eメール: npo@city.masuda.lg.jp



ますだ すまいる 通信



益田市市民活動支援センター

事業報告書等の 準備をしましょう！

NPO 法人は事業年度終了後、3ヶ月
以内に所轄庁への提出が義務付けら
れています。

毎事業年度の主な必要事項

なにを？	いつ？
決算処理	事業年度終了後
監事による監査	決算処理終了後
理事会の開催	監事による監査終了後
総会の開催	理事会終了後
資産の総額の変更登記	毎事業年度終了後、2か月以内に
税務申告書類の提出	毎事業年度終了後、2か月以内に
労働保険の年度更新	6月1日から7月10日までに
事業報告書等の所轄庁への提出	毎事業年度終了後、3か月以内に

事業報告書等とは？

- ①事業報告書等提出書
- ②事業報告書
- ③活動計算書
- ④貸借対照表
- ⑤財産目録
- ⑥年間役員名簿
- ⑦社員のうち10人以上の名簿



事業報告書等の準備をしましょう！＜計算書類＞

【一口メモ】「活動計算書」と「収支計算書」の違いは？

収支計算書は、法人が定めた「資金の範囲」における、資金の動きと有り高を表すものです。
活動計算書は、NPO 法人の「当期の正味財産の増減原因」を表すもので、貸借対照表との整合性を簡単に確認することができます。また、固定資産の取得時において、収支計算書にはその「購入時の支出額」を計上しますが、活動計算書には支出額ではなく、取得した「資産の減価償却費」を計上する等の相違点も挙げられます。

（例）180万円の車を購入した場合

収支計算書では 180万円の支出（車両購入費）として計上

活動計算書では30万円の減価償却費として計上

なお、当面の間、従来のNPO法人の会計処理によって、収支計算書を作成、提出することが認められていますが、法人間の比較を困難にし、外部の利用者に混乱を与えるため、できる限り速やかに活動計算書に移行することが望まれます。

活動計算書（現金以外に資産・負債がない場合の記入例）

平成〇〇年度 特定非営利活動に係る事業会計活動計算書 平成〇〇年〇〇月〇〇日から平成〇〇年〇〇月〇〇日まで			
特定非営利活動法人〇〇〇〇〇〇			
科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費	700,000		
2. 受取寄附金	290,000		
3. 受取助成金等	10,000		
経常収益計			1,000,000
II 経常費用			
1. 事業費			
（1）人件費			
臨時雇賃金	200,000		
人件費計	200,000		
（2）その他経費			
旅費交通費	300,000		
通信運搬費	100,000		
その他経費計	400,000		
事業費計		600,000	
2. 管理費			
（1）人件費			
人件費計	0		
（2）その他経費			
印刷製本費	150,000		
通信運搬費	100,000		
雑費	50,000		
その他経費計	300,000		
管理費計		300,000	
経常費用計			900,000
当期正味財産増減額			100,000
前期正味財産額			200,000
次期繰越正味財産額			300,000

貸借対照表（現金以外に資産・負債がない場合の記入例）

平成〇〇年度 貸借対象表 平成〇〇年〇〇月〇〇日現在			
特定非営利活動法人〇〇〇〇〇〇			
科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	300,000		
流動資産合計		300,000	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			300,000
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		200,000	
当期正味財産増加額		100,000	
正味財産合計			300,000
負債及び正味財産合計			300,000



活動計算書の「次期繰越正味財産額」と貸借対照表の「正味財産合計」が一致します。

貸借対照表の「負債及び正味財産合計」は翌事業年度の「前期正味財産額」になります。

セミナー・市民活動イベント情報

助成金合同説明会

●県内の助成金が一度に分かる！

日 時：4月7日（火）13：00～
場 所：益田市人権センター多目的ホール
（益田市須子町 3-1）

スケジュール：

13：00～13：30 ミニ講座
13：30～14：50 各制度説明
15：00～ 個別相談

※個別相談をご希望の方は事前に申込みをお願いします。

【お問合せ】

（公財）ふるさと島根定住財団 地域活動支援課
TEL:0852-28-0690 FAX:0852-28-0692

NPO 入門講座

●基礎から学べます！

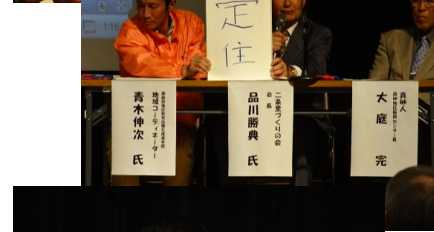
日 時：4月22日（水）
13：30～16：30
場 所：いわみぶらっと会議室 1・2
（浜田市相生町 1391-8 シティパルク浜田）
内 容：講義「NPO のはじめの一步」（120 分）
NPO 法人事例発表（30 分）
ミニサロン（30 分）
定 員：30 名 申込締切：4月15日（水）

【お申込み・お問合せ】

（公財）ふるさと島根定住財団 地域活動支援課
TEL:0852-28-0690 FAX:0852-28-0692

第2回人口拡大シンポジウムが開催されました！

～「ひと・しごと・まち」づくりによる益田市の創生～



総合戦略スタートの扉が開かれます！

3月21日（土）、市民学習センターにて『第2回人口拡大シンポジウム』が開催されました。このシンポジウムは、益田市の可能性を掘り起こしながら、誰もが安心して住み続けられるような『ますだ』を創るために、市民、地域、行政等が連携・協働して知恵を結集し、新しいまちづくりの仕組みを考えようというものです。来場者は約130名。山本市長による施政方針では、益田市創生の視点として

①ひとづくり
②しごとづくり
が掲げられ、今後は人口ビジョンや総合戦略の策定にむけて人口拡大市民フォーラム（仮称）等の開催の準備が進められています。また、「ひとづくり」「しごとづくり」「まちづくり」それぞれの取組みについて各団体から紹介がありました。

- ・子どもを取り巻く縁
- ・地域住民の参加
- ・人材育成
- ・元氣と生きがい

など、キーワードは幾つもありましたが、どれも人と人の繋がりは必須です。地域コーディネーターの方が、前コーディネーターから言われた一言、「楽しいやらにやゝつまらんで！」何と言っても、これがすべての原点なのではないかと感じました。そして、定住者トークライブでは、イターン者の客観的な目線で見た益

「住みたい、住み続けたい『まち』を創っていくためには？」

田を伺うことができました。その中で、就農・起業するにあたっての苦労、地域のひととの繋がりを解決しなければならぬ課題も見えてきたように思います。後半のパネルディスカッションでは、人口拡大には切っても切り離せない「人」「お金」について、パネラーの皆さんから様々なご意見を伺い、あらためて気付きを得た来場者も多かったのではないのでしょうか。そして最後に、コメントーターの山本市長が、「【ひと】【しごと】【まち】、総合戦略スタートの扉を開き、益田市創生に向けて前進して行きたい」と締めくくられ、シンポジウムは盛況のうち

様々な立場の方にパネラーとして参加していただき、問に対するキーワードをお答えいただきました。

『人を取り戻す』ために必要な地域の取組は？

実体験	蘇	元氣住民	PR	空き家の改装	交流
-----	---	------	----	--------	----

『お金を取り戻す』所得や雇用を創りだすには？

おいしい	地産地消	支え合い	出る	仕事を生み育てる、横つなぎ	売り
------	------	------	----	---------------	----

『今後の抱負』次の一步は？

世代融合チーム	定住	高齢者が動く 若者が動く	若者の視点、 センス、感覚	飛躍	育む
---------	----	-----------------	------------------	----	----